

News Release

令和4年4月27日

各報道機関文教担当記者 各位

親子で通学路の危険を確かめ合える「もしかもマップ」の提供開始

金沢大学融合研究域融合科学系の森崎裕磨特任助教は、イーデザイン損害保険株式会社（取締役社長 桑原 茂雄）が推進するデータを活用した事故削減の取り組み「SafeDriveWith（以下「SDW」）」の一環として、同社が2022年4月27日（水）より提供開始する身近な道路上の危険個所を親子で確かめ合えるWebサービス「もしかもマップ」を監修しました。

「もしかもマップ」 URL：<https://www.sdw.e-design.net/moshikamo/>

【背景】

公益財団法人 交通事故分析センターが発表している「交通事故統計年報」によると、1994年（平成6年）から最新2020年（令和2年）までの26年間にわたって、歩行中の交通事故死傷者数において7歳児が突出して多い状況が続いており、この状況は「魔の7歳」と呼ばれ問題視されています。

この「魔の7歳」に対して、森崎特任助教は、身近な道路上の危険個所を親子で確かめ合うことの重要性を指摘しました。

【「もしかもマップ」の概要】

「もしかもマップ」は、特に大人と子どもで危険認識に大きな差異があるという事実に着目し、親子の交通安全に関する会話を促し、危険認識の目線合わせを促進する「安全てんけん」や「ドリル」といった機能を実装しています。

また、身近にある危険な場所を見つけて、ユニークなキャラクター「もし子」でマップにピンを立てることができます。他の人のピンに対しても反応することができ、みんなの「声」がマップに集まっていくことで、気がつかなかった危険な場所がマップに見えるようになっていきます。

「安全てんけん」機能では家の周りや通学路にある危険な場所を親子で実際に歩いて、大人と子供それぞれの視点でピンを立てることができ、親子でコミュニケーションをとりながら危険な場所を探すことで交通安全の意識向上に役立てます。

「ドリル」機能では、どういった場所が危ないかなど、ピンを立てるうえでの重要な視点を親子で学ぶことができます。

【本件に関するお問合せ先】

金沢大学融合研究域融合科学系 特任助教 森崎 裕磨
電話 : 076-264-6389
E-mail : morisaki@staff.kanazawa-u.ac.jp

【広報担当】

金沢大学融合系事務部総務課企画総務係
電話 : 076-264-5920
E-mail : yugosomu@adm.kanazawa-u.ac.jp